

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

みやぎ木魂と暮らす家

グループの名称

ALLみやぎ住まいラボ

直近採択グループ番号

06-0594-0092

(グループ代表者)

代表者名

渋谷 隆

代表者印

代表者所属先

株式会社渋谷木材店

代表者所在地

宮城県名取市愛島笠島字桜町22番地

代表者電話番号

022-384-4282

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社渋谷木材店

事務局担当者名

今野 良典

印

事務局郵便番号

981-1238

事務局所在地

宮城県名取市愛島笠島字桜町22番地

事務局電話番号

022-384-4282

事務局FAX

022-384-8255

事務局担当者E-mail

y.konno@shibuyamokuzai.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	みやぎ木魂と暮らす家
2. グループの名称(必須)	ALLみやぎ住まいラボ
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0594-0092
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	宮城県、福島県、山形県
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	渋谷 隆
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社渋谷木材店
8. グループ代表者所在地(必須)	宮城県名取市愛島笠島字桜町22番地
9. グループ代表者電話番号(必須)	022-384-4282
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社渋谷木材店
11. グループ事務局担当者名(必須)	今野 良典
12. グループ事務局郵便番号(必須)	981-1238
13. グループ事務局所在地(必須)	宮城県名取市愛島笠島字桜町22番地
14. グループ事務局電話番号(必須)	022-384-4282
15. グループ事務局FAX番号(必須)	022-384-8255
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	y.konno@shibuyamokuzai.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	4	原木供給事業者が海外である為念書の入手が困難。その場合、林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可
II. 製材・集成材製造・合板製造	7	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	2	
IV. プレカット	2	
V. 設計	3	
VI. 施工	17	
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPPC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1. 都道府県の産地認証制度等によるもの 2. 民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3. 林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4. クリーンウッド法に基づき合法であることが確認された木材・木材製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材		3	国内	
		外材		3	国外	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		4	国内	
		外材		4	国外	
		優良みやぎ材	宮城県	優良みやぎ材認証制度	1	国内

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		9	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	9	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸		
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		戸		
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸		
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸		
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸				
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸				
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸				
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	事前に説明会を開催したうえで、事務局への物件情報提出、先着順。但し、未経験工務店が優先される。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	7	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) みやぎ木魂と暮らす家	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県、福島県、山形県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) ALLみやぎ住まいラボ	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0594-0092	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	東日本大震災の被災地としての経験を活かし、高い耐震性能及び断熱性能。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	夏季の省エネルギーに資する通風の確保。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	かきの日射の影響を緩和するために軒の出を大きくとる。	○
④①～③の背景	地域型住宅供給対象地域は仙台市近郊、宮城県南部、福島県浜通りが中心である。気候は比較的温暖であるが、東日本大震災の被災地であり、シェルターとしての機能も重視した住宅が求められている。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	今後のストック型社会また、住宅着工戸数の減少を見据え、住宅の履歴情報の蓄積、管理、リフォーム技術の習得、リフォーム施策を積極的に取り組む。	◎
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 躯体基本寸法 : 105×105または120×120	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 合板、サッシ、断熱材、給湯器のメーカー、性能等	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 構造、羽柄材の仕様 : 宮城県エコ住地普及促進事業に準じた仕様。(宮城県外は除く)	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 合板、サッシ、断熱材、給湯器のメーカー指定による共同化。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局と各構成員との予定物件の早期情報の共有	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局と建材流通構成員が中心となった委員会の設置	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 資材関連構成員から得た資材に関する情報を、施工構成員へ正確かつ敏速に伝達。また施工構成員からの物件情報を早期に取得し、資材関連構成員からの資材調達を確保	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 地盤調査に基づく基礎形式の選定から始まり、構造及び断熱等施工に関する基準を作成し、施工構成員へ周知徹底するとともに施主に提示する	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 構造躯体、断熱施工検査を可能な限り施工主立ち合いのもと実施する	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 見積りは極力専門用語を避け、施主のわかりやすい内容となるよう留意	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ホームページを立ち上げ、現場情報や施工業者情報、その他グループの取組等を紹介する地域型住宅にはグループののほりを掲げる	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ全体で導入に向け努める	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ全体でそれぞれ見合った処遇の実現に向け努める	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ全体で加入の徹底に向け努める	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ全体で「携わる全ての人の健康」を第一とし、職場環境の整備に努める	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	住宅の性能向上はもとより、携わる全ての人の充足感の向上を目指す	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) みやぎ木魂と暮らす家	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県、福島県、山形県		
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ALLみやぎ住まいラボ	(結成年) 2015 年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0594-0092			
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 住宅蓄積情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 30年間の履歴情報の蓄積、管理	◎	
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報『いえかるて』	◎	
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『いえかるて』登録機関が発行する証明書をもって確認	◎	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: インспекション・ガイドラインに基づく点検	◎	
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 大規模な自然災害時には応急点検、補修を実施	◎	
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『いえかるて』の登録情報を運営委員会と共有し、これに基づき点検補修の時期を把握し周知す	◎	
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主に対し定期的に住まいの情報誌をお届けし、手入れの仕方住まい方また、税制、リフォーム	○	
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主に対し定期的に住まいの情報誌をお届けし、手入れの仕方住まい方また、税制、リフォーム	○	
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主に対し定期的に住まいの情報誌をお届けし、手入れの仕方住まい方また、税制、リフォーム	○	
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 運営委員会の中に維持管理担当を置く	◎		
	⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: インспекション・ガイドラインに基づく維持保全	◎		
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 代表及び事務局が施主に説明し、適切な代替事業者をグループ内より選出紹介し継続的な維持	◎	
		② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険会社に依頼し実施する	○	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	瑕疵担保責任保険への加入を義務付ける。また、500万円以上のリフォーム工事に関してもリフォーム瑕疵保険加入を義務とする		◎
	エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当該物件がでたら現場研修会を開催する	◎		
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で構造躯体及び断熱材施工検査を行う	◎		
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 検査表を作成し、運営委員会に提出する	◎		
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が施工構成員から定期的に受注状況をヒヤリングし、需給計画を策定する	◎		
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局と建材流通構成員が連携し、低炭素社会対応に向けた勉強会を実施する	○		
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計構成員は外皮計算、一次エネルギー消費量計算を習得し施工構成員を支援する	◎		
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 32 今年度の参加目標人数 2	○	
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 4 今年度の参加目標人数 6		○		
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局より、講習会開催時期の情報を提供をし、受講を促す		◎		
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局と建材流通構成員が連携し、新商品情報の収集に努め、性能等の検討を行う	○		
	② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	ゼロエネルギー住宅に関する研修を行い、グループ全体でゼロエネルギー化へ向け取り組む。また、ストック型社会への対応として「長期優良住宅リフォーム推進事業」への応募を支援し、性能向上リフォームへも取り組む		◎	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) みやぎ木魂と暮らす家	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県、福島県、山形県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ALLみやぎ住まいラボ	(結成年) 2015 年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0594-0092													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造材並びに2次部材に地域材(宮城県産材、合法木材)を使用する												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	I 原木供給 → II 製材 → IV プレカット → VI 施工												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内でI 原木供給からII 製材の地域材の生産は日常的に行われており、在庫把握は確立されている												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内でI 原木供給からII 製材の地域材の生産は日常的に行われており、価格共有の仕組みは確立されている												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 定期的に開催される運営委員会において地域材型住宅の受注予測情報を早期入手し、一般住宅も合わせた供給予測を立てる												
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 夏季の日射の影響を緩和するために軒の出を大きくとる												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 夏季の省エネルギーに資する通風の確保												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の景観になじむ設計に努める												
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施主の要望により提案する												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	宮城県の「県産材利用エコ住宅普及促進事業」における木材使用割合をルールとする。(県産材を県定義の主要構造部材に60%以上かつ優良みやぎ材を40%以上使用)半壊以上の罹災者住宅また、宮城県外の住宅はこの限りではな。但し、当事業の「過半の地域材使用」は厳守とする												
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
	東日本大震災の復興に資する取組	県産材の積極的な利用、様々な復興支援に関する情報の周知を図るとともに、手続きをサポートし積極的に取り入れ復興の一助とする												
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	東日本大震災の経験を活かし、資材、情報提供等、可能な限り早期復興につながる支援が出来ればと考えております												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> みやぎ木魂と暮らす家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 宮城県、福島県、山形県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> ALLみやぎ住まいラボ	<small>(結成年)</small> 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0594-0092	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
※高度省エネ型(認定低炭素住宅・性能向上計画住宅) 1、冬季の日射取得と夏季の日射遮蔽を考慮して軒の出を大きくとる。 2、採用設備はエネルギー消費効率の高い暖房・給湯設備や節水性の高い仕様により一次エネルギー消費量を基準より10%削減する。 ※高度省エネ型(ゼロエネルギー住宅) 1、ゼロエネルギー住宅の基準に則り、高断熱外皮を最優先とし、一次エネルギー消費量を一次エネルギー消費量を抑える。 2、それによる設備機器のコスト高を抑えるプランニング、設計をする。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。